

學 會 記 事

コンクリート常置委員会 吉田會長を委員長とし委員17名を以て組織し、9月12日以来、既に數回の委員会を開き標準示方書の解説について審議中である。刊行は明年8月の豫定で B.5 版全1冊とし頒布價格250圓位の豫定。

西部支部 11月5、6の兩日日室内谷發電工事の山口土堰堤現場の見學會を50名近くの参加を得て行い、盛會であつた。

會員入退會移動報告 10, 10~11, 7

1. 入會 108名

a. 正員 18名 黒川幸成、中村吉次、武藤寅一、多久博彦、矢代弘文、井上勳、竹田弘二、岡村文雄、風見勇、楠志正、金井明次、和田澄於、鈴木英二郎、佐々木外喜雄、菅 脩、谷岡安雄、清水阪七、橋崎二了。

b. 准員 51名 種村司、北川謙、堀内博、猪股昇、並木道利、中村正二、荒木幸夫、阿部貞吉、今井好平、石上周、河野正男、毛塚政典、白川英一、山崎吉郎、市村憲一、松澤興三、渡邊治、館野乙彦、河内貞夫、井上滿、虎谷久七、神野勝之助、田口廉也、藤井義貞、福富善次郎、伊藤典雄、岡田芳弘、飯塚肇、西村保英、森山茂、森吉隆、森岡徳次郎、山崎幹雄、桑原邦彦、青木清、清口銀一郎、笠井幸一、數田正美、和泉康之助、橋本英郎、山橋武、岡野拓、菊地正太郎、廣瀬菊臣、末次勇一、森義香、山近廣一、飯野豊、田中賢、菱川幸雄、中村清。

c. 學生員 35名 高野實二、堀岡照三、小橋賢治、可兒美之、岩谷剛志、松島南、水野昭、北村信之、古賀琢一、東義雄、江崎正徳、別府卓、石橋實、小川博、淺田義雄、津田耕文、辻本好一、大村博生、林 薫、野村親男、前岡昇、坂上進、井上和宗、寺本美夫、春

名紀雄、猪俣寅一、井上洋里、吉田昭二、奈良計宏、菅眞哉、木地晴彦、安藤正徳、猪口弘、吉原茂雄、長田昇。

d. 賛助員 4名 井上工業株式会社、西松建設株式会社、大成建設株式会社、清水建設株式会社。

2. 退會 43名

a. 正員 10名 (死亡)徳永平九郎、小林徳司、千田富治、西畑常、(本人申請)森勝吉、木下武之助、兒玉東一、池神重政、安部喜藏、松本伊之吉。

b. 准員 31名 (死亡)橋本克巳、(本人申請)小早川亮、田尻孝一、松崎英與、田賀秀和、長谷川政司、宮島嘉作、阿部博、西村勇、吉田宇三郎、平尾晋、湯島貞夫、尾坂學、新海晋、長谷川龍造、和泉善徳、岡島正天、木原昭生、寺西章一、山崎開平、大野大明、田代親雄、高木嵩、高島七郎、高橋英昭、廣井八郎、土肥賢一郎、田中義治、高橋哲夫、中田清一、船越泰助。

c. 學生員 2名 (本人申請)竹内令二、丸田和也

3. 復活 17名

a. 正員 6名 辻口利雄、入江繁樹、網谷辰正、石宮芳、格井保治、服部主計。

b. 准員 11名 井上俊夫、小川信雄、後藤清、福岡貞男、西村稔、平賀勉、宮地増雄、立井誠雄、落合伊作、橋本武、小野文雄。

4. 轉格 37名

a. 准員より正員へ 34名 木村憲雄、竹内俊雄、岡澤裕、細谷正實、松本俊雄、大岡秀雄、宮崎茂一、市嶋武雄、郷古雄三、黒河内浩、佐藤信正、唐木卓雄、伊吹山四郎、鈴木清造、富永正敏、米村新之助、岡村雅夫、山川尚典、渡邊啓、江藤正義、奥山浩一、野中久光、春日原伸昌、中安米蘇、藤原忠夫、宗野一、長畑堅志、三谷健、立井誠雄、落合伊作、柄澤部治、平賀勉、宮地増雄。

b. 學生員より准員へ 2名 平田五十、東雅昭治。

c. 准員より學生員へ 1名 宮内一彦。

34 卷 編 集 の 跡

號	擔當委員	發行月	頁
1	田中、新妻	4月	48
2	最上、山田	7月	40
3	國分、平井	8月	39
4	高畑、米元	9月	48
5	丸安、八十島	10月	47
6,7	生田、河上	11,12月	43

編 集 後 記

とうとう、34卷最終號の編集後記を書くことになりました。年の半ばから始まつた強行軍も之で何とかゴールにすべりこめたわけで、委員各位に對し改めて深甚の謝意を表する次第です。編集子の不注意のため、ミスばかり多く會員諸兄に御迷惑をおかけしたことは慚愧にたえません。今後とも銘々の力で編集を盛りたててゆくのだという氣持で暖かい激勵を送られんことをお願いいたします。愈次號は新企畫第1號内容は新春のこたつの中でゆつくり吟味して頂くことにして豫告編を省くことにします。希望にあふれる新年が讀者諸兄の上に訪れんことを祈りつゝ筆をおきます。では來年また。